



紀州鉄道株式会社

1. ご利用の皆様及び地元の皆様へ

弊社の鉄道事業に対しまして、日頃のご利用とご理解・ご協力を賜りまして誠にありがとうございます。

弊社は、「地元で親しまれ愛される鉄道」をモットーにおかげさまで 89 周年を迎えましたのも全国の皆様や地元の方々から多くのご支援を賜りましたものと、深く御礼申し上げます。

本年度は、昨年度発生しました脱線事故により、多くの皆様へご迷惑とご心配をおかけしたことに對し、改めて「安全の確保」を目指し、経営陣と従業員が一致協力し安全輸送に努めてまいります。

本報告書は鉄道事業法に基づき、輸送の安全確保のための取り組みや安全の実態についてまとめたもので、鉄道事業を広くご理解をいただくために作成したものです。皆様からのお声を輸送の安全に役立てたく、ご意見を頂戴できれば幸いです。

代表取締役 中川源行

2. 基本方針と安全目標

【1】基本方針

弊社の経営理念の第一は、安全の確保です。「安全基本方針」を次のように掲げ社長以下従業員全員に周知・徹底しております。

1. 安全の確保は、輸送の生命である。
2. 規定の遵守は、安全の基礎である。
3. 執務の厳正は、安全の要件である。
4. 安全の確保のため職責を超えて一致協力をする。
5. 常に確認を励行し、連絡を徹底する。
6. 作業を確実にし、その取扱いに疑わしいときは最も安全と認められる方法をとる。

【2】安全目標

2016年度の安全目標を次のとおり定めております。

- ・列車事故（衝突・脱線・火災）・・・「ゼロ」
- ・人身障害事故　・・・・・・・・・・「ゼロ」
- ・踏切障害事故　・・・・・・・・・・「ゼロ」

【3】2016年度の事故・障害に関するご報告

安全目標に対する実績は次のとおりです。

- ・列車事故（衝突・脱線・火災）・・・「1件」
- ・人身障害事故　・・・・・・・・・・「ゼロ」
- ・踏切障害事故　・・・・・・・・・・「ゼロ」

平成29年1月22日 11時00分 御坊駅を定刻10時58分に出発後、左曲線出口側緩和曲線部を時速13kmで力行運転していたところ、湯川第2橋梁約7m手前の地点で床下から衝撃を感知したので、直ちに非常制動の処置を執り、湯川第2橋梁付近で停車しました。車体を確認したところ、進行方向左側に後台車全2軸が脱線していることを確認しました。

【4】脱線事故に伴う再発防止策

この事故では、幸いにも死傷者を出さず、近隣住宅等への被害も出さずに済みましたが、事故の状況によっては多くの死傷者を出すこととなり、皆様へは大変ご心配とご迷惑をお掛けしたことを深くお詫び申し上げます。

今回の事故につきましては、現在、運輸安全委員会におきまして原因の究明など、詳細を調査中ではありますが、事故の発生状況から、事故現場の木枕木が老朽化により木の繊維が弱くなり、レールを木枕木に締結している犬釘の抑えが利かなくなっており、列車通過時の横

圧により、レールとレールの間隔が開き、車輪が落ち脱線したものと推察するところであり
ます。

当社といたしましては、再発防止策として以下の項目を実施しております。

- (1) 全線において点検を実施し、必要な箇所の軌道整備（P C及び木枕木交換、道床突き
固め、軌道整正）を行う。
- (2) 当該脱線箇所については（1）に加え、脱線防止レールと本レールとの間隔の適正化
及びレール継目部の角折れ箇所の修正を行う。
- (3) 運転再開後も当分の間、徐行運転を継続する。

なお、運輸安全委員会の調査報告書により更なる安全対策が必要となれば、追加対策を行
ってまいります。

3. 輸送の安全確保のための取り組み

【1】安全重点施策

当社線では、踏切が18ヶ所あります。自動化の中で踏切支障報知装置（非常ボタン）が設置されているのが4ヶ所となっております。2016年度は、線路基盤の強化はもとより、踏切保安設備の整備に努めてまいりました。今後も引き続き運行の安全に努めてまいります。

【2】人材教育

2016年度は、積極的に人材登用を行いサービス向上の教育とともに異常時の取扱いの教育を行いました。

【3】安全投資

2016年度は、従前からの施策に重点を置き線路等の軌道関係の継続的な改良工事等の実施を引き続き進めております。

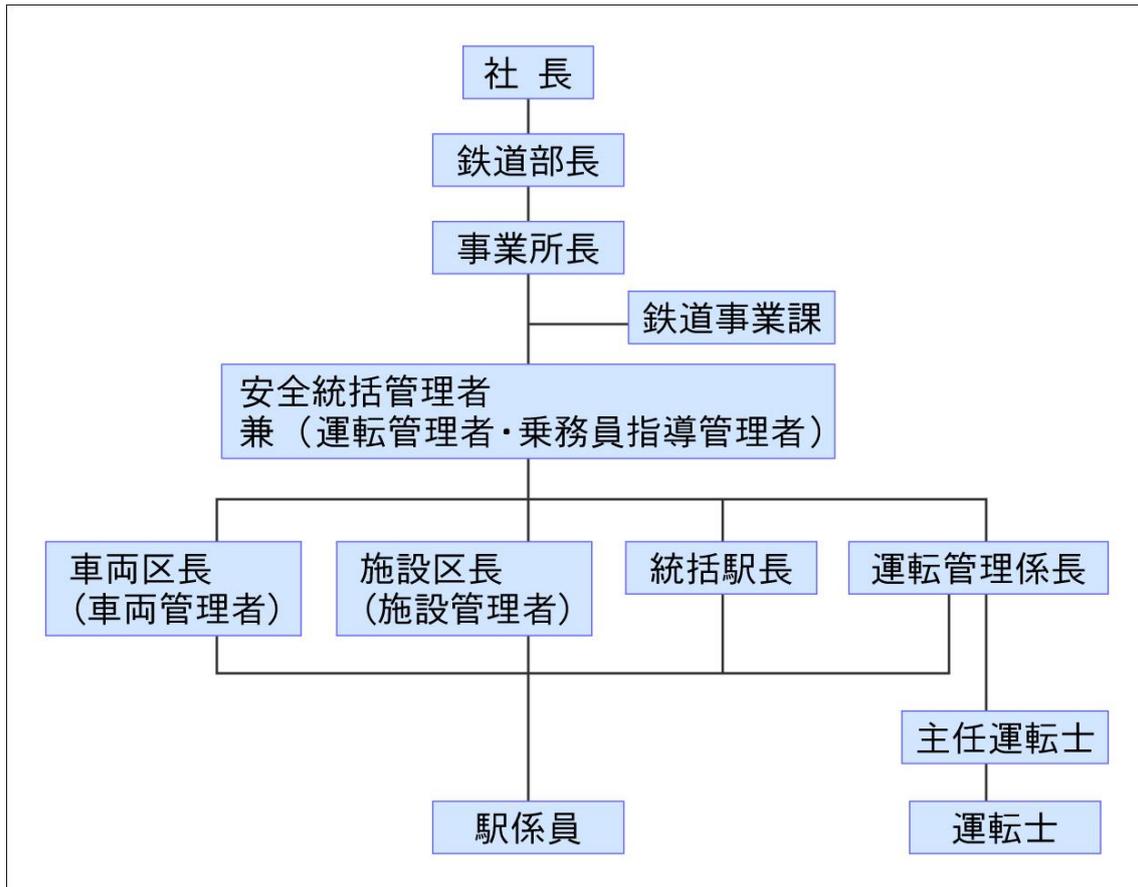
【4】設備対策

軌道保守工事（枕木交換、軌道整備工事）等、列車が安全に通行できる環境整備を実施しております。

4. 安全管理体制

【1】安全管理組織

当社では、社長をトップとする安全管理組織を構築し、各責任者の責務を明確にした上で安全確保のための役割を担っております。



【2】安全管理

安全統括管理者を選任するとともに、経営者をはじめ輸送の安全の確保に係る役割を定めております。

- | | |
|-----------|----------------------------|
| ・社長 | 輸送の安全確保に関する最終的な責務を負う。 |
| ・安全統括管理者 | 輸送の安全の確保に関する業務を統括する。 |
| ・運転管理者 | 運転に関する業務を管理する責務を有する。 |
| ・乗務員指導管理者 | 運転士の資格保持に関する事項を管理する責務を負う。 |
| ・施設管理者 | 鉄道施設を維持管理する責務を負う。 |
| ・車両管理者 | 輸送の安全確保のために車両を維持管理する責務を負う。 |

【3】安全管理の方法

(1) 安全のための連絡体制

社員が定期的に施設等の点検の実施を通じて不具合があれば、速やかに専門業者と連絡をとり対応を進めます。

(2) 事故発生時の緊急体制

マニュアルを機会あるごとに見直し、緊急時の対応体制の整備に心がけ、状況により対策本部を設置して対応にあたります。

【4】東京本社鉄道事業課の新設

当社では、平成 28 年 10 月 1 日に東京本社鉄道事業課を新設しております。この部署は、御坊支店での安全管理体制を執っていたものを更に向上させること、お客様へのサービス向上とお客様満足のために新たな視点で発展させることを目的とし設けました。今後も本社・支社間での連携を強化し安全で快適な鉄道事業を目指します。

5. 地元の皆様との連携とお願い

「地元で親しまれ愛される鉄道」をモットーに、沿線の保育園・幼稚園・小中学校・高校、商店街、住民の皆様方が『紀州鉄道が近くにあってよかった』と仰っていただけるような取り組みを始めております。そして、「より、安全で信頼される鉄道」づくりのため、皆様からの貴重なご意見を安全輸送に役立ててまいります。

また、平成 29 年 1 月 22 日の脱線事故により約 1 ヶ月間にわたり全線運休を致しました。普段からご利用いただいているお客様には大変ご迷惑をお掛けしたにも関わらず、当社職員に励ましや温かいお言葉を頂戴し、心より感謝申し上げます。今後も変わらぬご愛顧をお願いいたします。

6. お問い合わせ先

安全報告書へのご感想、ご意見をお寄せください

- | | |
|-------|--|
| ■東京本社 | TEL : 03-3230-2261 (代表) |
| | FAX : 03-3263-6590 |
| | E-mail: info@kitetsu.co.jp |
| | 受付 : 平日 9時00分~17時00分 (土日・祝日除く) |
| ■御坊支店 | TEL : 0738-23-0001 |
| | FAX : 0738-23-3641 |